

エネルギーコース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

エネルギーコースは6つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）を掲載しております。

【化学系】

化学系では、広く物質の関わるさまざまな現象に知的好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・ 広く物質の関わるさまざまな現象に好奇心と探求心を有している
- ・ 化学の基本的な概念や考え方を身に付けている
- ・ 論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・ さまざまな事象を原子・分子レベルで探求し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している
- ・ 専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している

【機械系】

機械系では、次のような人材を求めます。

- ・ 機械工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・ 機械工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・ 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・ 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・ 機械工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

【電気電子系】

電気電子系では、次のような人材を求めます。

- ・ 電気電子工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・ 電気電子工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・ 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・ 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・ 電気電子工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

エネルギーコース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

【材料系】

材料系では、特に次のような学生を求めます。

- ・材料科学および材料工学における新しい研究領域に果敢に挑戦する気概を有する人
- ・材料科学および材料工学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有する人

【応用化学系】

応用化学系では、特に次のような学生を求めます。

- ・応用化学における科学と工学の新しい研究領域に果敢に挑戦する気概を有する人
- ・応用化学における科学と工学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有する人

【融合理工学系】

融合理工学系では、次のような方々を求めます。

- ・国際社会が抱える問題や地域社会の問題に興味を持ち、それを解決するための高度な学問を学ぶ意欲を有すること
- ・自分の得意分野を極める意欲と関連分野を広く学ぼうとする柔軟性を併せ持つこと
- ・高度な融合理工学を修得するための基礎的な学力が十分であること
- ・国際的なコミュニケーション力、マネジメント力、協働力の基礎ができていること

エネルギーコース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

エネルギーコースは6つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）を掲載しております。

【化学系】

化学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、化学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【機械系】

機械系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、機械系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【電気電子系】

電気電子系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、電気電子系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【材料系】

材料系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、材料系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【応用化学系】

応用化学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、応用化学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【融合理工学系】

融合理工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、融合理工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

エネルギーコース（修士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) エネルギー分野における基礎的な専門学力の養成

エネルギーに関わる多方面の知見を理解するのに必要な基盤的な専門学力およびエネルギー分野内専門（物理、化学、応用化学、材料、機械、電気）に関する基礎的な専門学力を養成するための学修

B) エネルギー分野における深い専門学力と応用力の養成

エネルギーに関わる多方面の知見を理解し活用するために必要な、深い専門学力と応用力およびエネルギー分野内専門（物理、化学、応用化学、材料、機械、電気）に関する深い専門学力を養成するための学修

C) エネルギー分野における広い視野での俯瞰力および問題解決能力の養成

エネルギーに関わる多方面の知見を俯瞰し課題を抽出して、問題を解決する能力を養成するための学修

D) 研究者としての倫理観を持ち、安全に研究を推進する能力の養成

社会との関わり合いのなかで高い倫理観を持ち、安全に研究開発を推進する能力を養成するための学修

E) コミュニケーション能力の養成

様々な専門を有する相手との的確に意見交換し、論理的に議論を展開できるコミュニケーション能力を養成するための学修

ディグリー・ポリシー（修得する力）

本コースでは、次のような力を修得することができる。

- エネルギー分野内専門（物理、化学、応用化学、材料、機械、電気）に関する高い専門学力
- エネルギーに関わる多方面の知見を学び続ける力と理解するのに必要な基盤的な学力
- エネルギーに関する高度な専門学力に基づく実践的な問題解決力
- 新たな課題に主体的に取り組み、究めようとする探求力
- 多様な考え方をまとめて新たな方向性を見出す力
- 国際的に通用するコミュニケーション力